



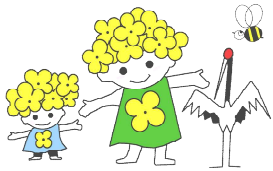
## 喜多の埜

### 茶屋町 菜の花イベント

茶屋町はかつて、菜種油を採取する為の菜の花がたくさん植えられており、俳人の与謝蕪村が「菜の花や 月は東に 日は西に」と詠んだほどの絶景であったといわれています。

平成二十一年より、そういった菜の花の縁を通じて、茶屋町・鶴野町という、賑わいがあり、更に歴史もある地域の文化性をさらに豊かにし、人と人とのつながりを深める事を目的にして、地域の有志によって構成された「鶴乃茶屋倶楽部」を中心に「菜の花の散歩道」と題してイベントが企画されています。

本年は、三月三十日、三十一日の両日、茶屋町において、様々なイベントが執り行なわれる予定です。また、二月中旬頃から茶屋町・鶴野町界わいでは、茶屋町で育てられた菜の花が飾られ、現在、推し進められています。「梅田ミツパチプロジェクト」のミツパチたちも茶屋町・鶴野町の空を駆けめぐる事でしょつ。当社の御旅社におきましても、桂佐ん吉さんによる落語会を催す予定です。詳細は今後、ポスターや、当宮のホームページなどで告知いたします。ぜひ、三月三十日、三十一日は茶屋町・鶴野町にお越し下さい。



「菜の花の散歩道」  
マスコットキャラクター  
なのだっち

### 「迫る」「うめきた」まち開き

旧国鉄 梅田貨物駅跡地、通称「梅田北ヤード」の再開発として、平成二十二年三月三十一日に地鎮祭を執り行なってより早や三年。国鉄民有化による再開発事業計画の開始から数えれば実に二十六年。いよいよ、来月四月二十六日に、「うめきた」の街がまち開きします。

核となるのは入口にあたる、「うめきた広場、南館(タワーA)、北館(タワーB)、タワーC)、オーナズタワー(マンション)の四棟の大型ビル等からなる「グランフロント大阪」です。

先月頃から徐々に入られるテナントの概要が発表され始め、商業テナントは二六六店舗。うち七十二店舗が関西初進出で、九十七店舗が関西・西日本の旗艦店となる規模との事です。

また北館低層階には産官学による知の拠点「ナレッジキャピタル」が開設され、最先端企業、研究者やクリエイターの方々が集うところとなるようです。「押し照らす浪速」という和歌の枕詞の如く、光輝いてみえる四棟は、これからの大阪の希望に繋がっていく事でしょう。現代の建築技術の粋を集めた「うめきた」のまちはもつすぐお披露目です。

### 桂佐ん吉さん落語会

今月の三月三十一日(日)の午後二時頃から、茶屋町の御旅社で人間国宝、桂米朝さんのお弟子さんの桂佐ん吉さんの落語会が茶屋町の御旅社であります。

- ・一回目 午後二時から
- ・二回目 午後二時四十分から
- ・三回目 午後三時二十分から

一回だけ(五百円)でも、三回通し(一千二百円)でも聞くことが出来ます。尚、お席は自由席(五十席)で満席になり次第、切とさせていただきます。詳細は米朝事務所までお問い合わせ下さい。  
米朝事務所 ○六一三三六五―八二八―

### 神社携帯サイトのQRコード

ドコモ、ソフトバンク、  
au、モバイルPC 対応



編者 網敷天神社 禰宜(神主)

白江 秀知

